

タイトル	自分らしさの木（発展編）		
ワークの目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分のアイデンティティと向き合い、自己理解を深める 		
背景	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様なものの見方や価値観を認め合うためには、自分のアイデンティティ＝自分らしさを理解し、受け入れることが重要です。 ● 自分がどんな人間なのか、どんな性格・特徴を持っているのか、何が好きで何が嫌いなのか、何を大事にしているのかを知り、自分中に存在する多様な側面を認知することが上記への一歩につながります。 		
対象学年	小学校中学年・高学年	所要時間	40～60分
準備	ワークシート、筆記用具		
実施内容	支援の観点・留意点		
① 導入			
<u>自分らしさとは何かを考えてもらい、共通認識を作る</u>		<u>留意点</u>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 自分らしさについての問いかけを行う <ul style="list-style-type: none"> － 「今日は自分らしさについて考えてみよう！自分らしさってどんな意味だと思う？」 ● 自分らしさについてまとめる <ul style="list-style-type: none"> － 「自分らしさは、一人一人が持っている個性で、ほかの人とはちょっと違う特別なところだよ。みんなが言ったように自分の好きなこととかが性格が含まれてるよね」 － 先生は自分らしさってこんなものがあると思うな <ol style="list-style-type: none"> 1. 価値観・ものの見方（大事にしていること・考え方） 2. 好きなこと・好きではないこと 3. 得意なこと・得意でないこと 4. 性格 5. 属性（性別、人種、外見、出身地、趣味など） 		<ul style="list-style-type: none"> ● もし以前に自分らしさの木、私から見たあなたの基礎編を行っていた場合、そのワークシートに追記する形で行ってください。 	

② ワーク	
<ul style="list-style-type: none"> ● ワークシートを活用して上記で伝えた自分らしさを参考にしながら自分に関連するキーワードや文章を記入してもらおう（図1） <ul style="list-style-type: none"> - 「思いついた自分らしさを書いてみよう。但し、全部は埋める必要はないよ」 ● 困っている参加者には以下のような問いかけをしてもよい <ul style="list-style-type: none"> - 「大事なものは何かな」、「どういふことがあると嬉しいかな」 - 「自分が許せない／我慢できないことはあるかな」等 	留意点 <ul style="list-style-type: none"> ● 記入済のワークシートを見本として作っておくと、子供たちも書きやすくなります。 ● 本ワークの後に私から見たあなたを行うため、木の上のスペースはあけるように伝えましょう
③ 振り返り	
<ul style="list-style-type: none"> ● 問いかけを行う <ul style="list-style-type: none"> - 「何か新しい発見はあった？ 改めて言葉にしてならべると自分らしさが見えてくるんじゃないかな」 - 「自分らしさを考えるのは難しかった？ 簡単だった？ こういうことをしていくと、もっと自分のこともわかってくるんじゃないかな。これからも気付いたことを書いていこうね」 	

記入例(図1)



- “私から見たあなた”や、2回目以降でも同じシートを活用しますので、なくさないようにしましょう。
- 2回目以降は前回書いてなかったこと・新たに気付いたことを書くことにトライしてもらいましょう。
 - 記入する葉っぱが足りなくなったら、葉っぱを新しいワークシートから切り出し貼るなどして追加します